

# ミノルタ千代光会 会報 No.147

## 令和2年度 高野山物故者慰霊祭 10月9日(金)執り行われる 31名の方々を合祀

令和2年度の物故者慰霊祭は10月9日(金)。前日からの長雨で霧が流れ肌寒い高野山の静謐な空気に包まれて滞りなく執り行われました。  
本年は新型コロナウイルス感染リスクが懸念されたため、計画段階からご遺族や千代光会会員の皆様には参列をお控えいただき、会社ご来賓とミノルタ千代光会の関西理事・監事のみで参列で開催することとしておりました。更に開催当日は台風14号の接近が重なり強い風雨が予想されましたので、南院様のご好意を



「興味津々」今年の2月の寒い日、神戸の王子動物公園にて撮影したものです。外国の若い母親に連れられてこの子は展示車両の中ではしゃいでいました。オシャレで表情も可愛く、撮意が芽生えました。母親にご了解を得て幾枚か撮らせて頂きました。女の子の顔半分偶然に当たった柔らかい光が影をも作り神秘的でした。そして何に興味を抱いたのか見つめる視線の先にその未来があるように感じました。  
(ニッコールクラブ会報誌コンテスト2席受賞作) [撮影 藤吉修忠]

### 本年度物故者慰霊祭法要 南院にて

### 目次：No. 147



高野山物故者慰霊祭	1-2
事務局からお知らせ	3-4
理事会便り	3
会員便り	3
追悼の辞	4

得て急遽、大霊園の慰霊塔の前での慰霊祭を変更し、別格本山南院の本堂にて慰霊祭を執り行うことといたしました。  
会社からは執行役秘書室長 愛宕和美様、関西支社長代理 鈴木透様、労働組合中央執行委員長 結城健太様がご参列下さり、当会関係者を含め総勢15名の慰霊祭となりました。  
午前11時に式開始、冒頭に慰霊塔建立の主旨「先賢の霊(みたま)

(次のページに続く)



参列者全員  
香を手向ける



内海住職よりご法話

慰霊祭建立主旨  
朗読



先賢の霊に捧ぐ  
創業以来茲に五十年 縁ありてミノルタと共に生まれし 先賢の霊に謹みてこの碑を建立し奉る 風雪幾たびか且つ訪れ且つ去り 歎びと悲しみを重ねること幾星霜 諸士の汗と涙によりて築かれしミノルタの歴史を顧みて 万感正に胸に迫る 願わくば先賢諸士の霊よ 社運の隆昌とこしなえに 泰からんことを冥護し給え 諸賢のご功績を讃え 高野の聖地にその霊を祀る 合掌

昭和五十三年十一月五日  
ミノルタカメラ株式会社  
取締役社長 田嶋一雄

2020年度合祀の方々(敬称略)

山尾 林三  
大場 千秋  
亀井 瀧夫  
前川 和久  
吉田 脩  
吉永 正敏  
宇野 喜久男  
藤岡 英行  
山中 昭二  
岩下 忠義  
野村 隆盛

杉本 卓也  
久保田 信行  
北市 茂男  
土井 武司  
出原 勲  
杉山 政季  
金谷 宰  
井上 衛  
板東 正男  
南 賢治

中井 憲三  
原田 修一  
草間 健  
米澤 邦夫  
北野 保  
佐原 常正  
黒谷 良紀  
夏目 鈴男  
川島 和雄  
中尾 一恵



高野山金剛峯寺の公式ウェブサイト  
<https://www.koyasan.or.jp/>

○会員の皆さん 高野山へお詣りの節は南院へもお立寄り下さい。  
ミノルタ千代光会からのお詣りとお伝えいただければ過去帳、厨子も拝観できます。  
※南院へは、高野山駅よりバスに乗車、浪切不動前で下車  
※ミノルタ慰霊塔のある霊園へは、奥の院前で下車

また結城様より、「・・・会社の歴史の一端を知る良い機会となりました・・・」と自己紹介を兼ねたご挨拶を頂き、田嶋

く存じ上げている方々のお顔を思い浮かべながら手を合わせておりました・・・とご挨拶を頂きました。



大場会長

会食に先立ち、ミノルタ千代光会大場会長より主催者としての挨拶があり、続いてご来賓の愛宕様より会社状況等も含め



愛宕執行役

いをもつて高野山を後にしました。様々な不安や不都合の多い中、ご参列下さいました会社ご来賓、当会理事・監事の方々に厚く御礼申し上げます。  
(報告 事務局 松山 創)

ま)に捧ぐ」が朗読され、創業者田嶋一雄氏の深い思いが伝わり厳粛な思いに満たされてきます。続いて本年合祀される物故者31名のお名前が読み上げられ、黙祷ののち読経が始まりました。読経が続けられる中、感謝と哀悼の思いを新たにしつつ全員が香を手向け、式は終了となりました。  
式後ご住職より、「今年は思いもしなかったコロナリスクの拡大や様々な災害等も多く大変な年になりました。そのうな中でも創業者田嶋一雄氏の思いを大切にされ、例年通り慰霊祭が行われましたことは大変尊いことと存じます。南院のご本尊は浪切不動尊です。日本はコロナリスク拡大のみならず地震、台風、大雨、火山噴火等自然災害も多い国です。どうぞ浪切不動尊の示されている不動心を持って日々お過ごしください」とのお話しを頂きました。  
その後、控えの間で記念写真を撮り、会食の場へと移動しました。

尚、本年度の物故者ご遺族方には来年度改めて慰霊祭ご案内をさせて頂く所存しておりますが、本年度予定の銘板合祀も来年度に合わせで行うことと致しました。  
新型コロナウイルス感染リスクを避ける様々な制約の中で、3密を避けこれまでとは異なる式次第・行事内容となりましたが、先賢の霊に捧げる感謝と追悼の思いは変ることなく慰霊祭を開催できたかと思いをもちました。  
英雄総代のご発声で献杯をして会食となりました。  
田嶋総代からは昭和53年、ミノルタ創業50周年記念事業の一環として慰霊塔が建立された経緯などが紹介され、慰霊塔も既に42年の歴史を刻んでいるのだと参加者一同感慨深いものがありました。  
しばらくの会食・懇談の後、解散となりました。恒例の奥ノ院散策は中止しましたが、個人的にもうしばらく高野山の参観をされるという方もおられました。



田嶋英雄総代





## おめでとうございます

⊕=中部地区会員  
⊙=関東地区会員  
無印=関西地区会員

### <古稀>

8月 松林 潤 木村 則夫⊕  
9月 杵築 邦昭⊕ 三浦 英俊 浅井 一郎  
10月 前川 和義 生駒 哲嗣 岩田 秀人⊕  
平井 勝博 網谷 豊⊕ 菊地 敏男  
11月 山本 啓二

### <喜寿>

9月 田嶋 威雄⊕ 木村 宗利  
10月 東 俊雄⊕ 竹林 教夫⊕ 下平 優⊕  
湯浅 穆夫 大場 勝  
11月 秋山 和也⊕

### <傘寿>

8月 松田 秀逸 土井 学⊕ 重竹 博⊕  
山崎 尉雄  
9月 稲垣 正太郎⊕ 清水 重光⊕ 東 純子⊕  
宮田 伸⊕ 田嶋 光雄  
10月 河野 明雄 今泉 孝行⊕ 眞下 好雄  
若菜 勇次⊕ 大屋 俊男 吉岡 宏  
11月 伊尾瀬 臣道

### <米寿>

9月 金谷 充朗 楠本 幸二

### <卒寿>

8月 水野 康次⊕ 村瀬 蔵雄⊕

## 事務局からお知らせ

### 新入会員のお知らせ

\*(所属地区)

藤井 俊策 (関西)

### 【会員状況】

10月20日現在

関西地区 [523名]

中部地区 [218名] 合計 [808名]

関東地区 [67名]

### 理事会だより

#### 継続審議

◇新入会員勧誘と今後の会事業のあり方について

#### 9月理事会

◇2019年度高野山慰霊祭日程について

#### 10月理事会

◇2019年度高野山慰霊祭総括慰霊祭全般について報告

◇上半期決算、今期決算の見直しについて

◇関西地区

1. 総会の開催について
2. 会社写真集確認の件

## 会員便り

### 「写真活動について」ー朝日賞受賞ー

関西地区会員 藤吉 修忠さん

本年の2月に全日本写真連盟関西本部主催の写真コンテスト「朝日展」に応募した拙作が朝日賞を受賞しました。

このコンテストは75年もの歴史を持ち、全国から3500点内外の応募があるそうで、その中から選ばれましたので嬉しいです。トップは朝日大賞(1点)、次いで朝日特別賞(2点)、そして朝日賞(10点)入選(40点)で、私は全階級受賞しています。

コンテストに受賞する事は励みにもなり、さらに上を狙おうと質の高い作品作りに意欲が湧きます。

私はもう直ぐ81歳になりますが元気で走り回って居られるのはこの写真活動のお陰様なのです。

退職後は晴耕雨読の生活を夢見ていましたが、今も毎日が多忙です。写真作品作りに時間が足りません。

思えば20年余も前の事です、零下47℃のアラスカで世界最大の犬橇レースを真夜中に撮影出来たことが写真の道に入るきっかけになりました。

誰一人居ない漆黒の暗闇の中、雪原に三脚を立てて1時間半待ちました。凍えそうな身体に「頑張れ」と声をかけ続けた結果、レーサーのヘッドランプに照ら

されて14頭のハスキー犬に引かれた1台の橇が私の脇を駆け抜けて行きました。犬の白い吐息がLED

ヘッドランプに照らされて、雪面を滑る橇のシチュールという音を残し走り去って行きました。

シャッターは1度しか切れませんでした。その時の感動(私がそこに実在していた、そして犬橇に遭遇できた)は最大でした。不鮮明な写真でしたが私の想いを表現出来ました。

これからもこんな感動を求めて表現し発信していきたいと思っています。

以上

## お悔やみ申し上げます

佐原 常正	2020年 7月 9日	川島 和雄	2020年 7月26日
黒谷 良紀	2020年 7月12日	中尾 一恵	2020年 8月 3日
夏目 鈴男	2020年 7月13日	松岡 隆志	2020年 9月 3日

## 追悼の辞

米澤邦夫さん

5月30日死去

明るいい星がまた一つ消えた。そんな気がする報でした。

米澤さんは化学屋として、伊丹工場のトナーや消耗品等の製造分野でスタート。

そして立ち上がり間もない事務機の豊川B M工場へ変わられ、その後技術サービス・TQC関係に携わられて、多様な仕事を発揮されました。

当時、倉庫風の間仕切り一つの向こう側から、(故)田島さん・小田切さん等管理職数人との会議の喧々諤々の声が、近くの我々にも聞こえてきました。それも懐かしい思い出です。

米澤さんとは、偶に囲碁・麻雀等に興じては屈託のない、人柄溢れるお付き合ひでした。

途中、お子様のないまま米国へ赴任され、日常から終始変わらぬ奥様の厚い支えで生活を楽しまれたと聞いております。帰国後、長男・長女に恵まれたお二人のいつまでも嬉しそうな顔が眼に浮かびます。

今は、奥様もご病身の事とか。その様子を天上から案じられている米澤さんのお姿に笑顔が絶えませぬように。心からご冥福をお祈り申し上げます。合掌

(瓜生 紀雄)

北野 保さん

6月16日死去

北野保さんが 逝ってしまいました。俺は未だに信じられない。信じたくない。未だ俺の横に。現実を認めざるを得ず。哀しい寂しい。在職中は仕事の良く出来た人でした。精密光学レンズ研磨の技は右に出る人は皆無でした。

責任感が強い上に、フットワークも軽く、職場の先輩、同僚、後輩、男女を問わず誰からも、保ちゃん、保ちゃんと呼ぶ声をかけられ、信用された人気がありました。

家庭内では、奥さん、娘さん、お孫さんたちを可愛がり、尊敬、親愛された良き父親でした。

如何に宿命、運命があるとは言え、若すぎた別れ。辛い、哀しい。

退職後も 家族同様のお付き合いで美食巡り、景勝地巡り、タイガースの応援等色々楽しい思い出を残して貰いました。

故に哀しく、寂しく、辛いです。そちらではゆっくり、ノンビリして下さいね。合掌。

(小田 龍雄)

松岡隆志さん

9月3日死去

尊兄松岡さんがお亡くなりになりました。合掌。

ご定年後25年余り、何一つご病気にも罹らずお元気で余生を送られていたのに。

過日、愛娘さんから、ご自宅で倒れられ、意識が無くそのまま病院に搬送、二週間後に意識が戻らぬまま亡くなられたと、ご連絡を頂きました。...

哀しく、呆然となりました。コロナ禍故、直接尊顔を拝してお別れが出来ず、遠くからのお別れになり、虚しさ・悲しみ・辛さ・残念でなりません。

知識の豊富な方で、在職中には仕事の事、定年後は人生の過ごし方等、多方面から教わりました。常に冷静沈着で穏やかにご指導いただきました。本当に信頼され、愛された課長さんでした。

趣味も広く、登山が大好きで、25年余り月に2回の金剛登山を一緒に一緒に送っていただきました。幾多の百名山にも連れて行っていただきました。

家庭内におかれましては、尊親としてお子様、お孫さん達に親愛された良きお爺ちゃんでした。カラオケが大好きで、五木ひろしが好きで。...

そちらでゆっくりと唄って下さいね、さようなら。

(小田 龍雄)

